

やっぱり「幌西」という言葉は好きですね

昭和8年に、幌西地区で初めての郵便局として開局した札幌南十一条郵便局。歴代局長は親子孫の3代にわたり、現在の久雄氏が3代目。地域に根ざした郵便局長の目に映る、まちの姿とは？

札幌南十一条郵便局 局長 柳町 久雄

—3代にわたって、地域の郵便局の局長をされているのは珍しいと聞きました。

そうですね。今は2代目、というのも少なくなってきていると思います。子どもの頃、父や祖父が地域の方々から「局長さん」って呼ばれていて、私もよく「局長の息子さん」って声をかけられました。昔は下駄履きでも来ることができ、気楽な雰囲気郵便局でしたので、利用ついでに世間話をしていられる方も多かったです。

最初の局舎は昭和8年に建てられたもので、焼きレンガの建物でした。平成14年に建て替えることになった時は、町内の方々から「何でこんな大事な建物を壊すんだ」って相当怒られましたよ。小学校の時に電報の書き方を学ぶ授業があって、家から用紙を持って行ったこともあります。今考えると、国のものを私用で使ってしまったような感じで、本当はいけないことなのでしょうけど……もう時効かな？

—昔と今とで、楽しみにしている地域の催しはありますか？

子ども神輿を担いだことは思い出に残っています。余談になりますが、私の趣味が神輿を担ぐことで。子どもの頃は一度担いだだけだったのですが、30歳を過ぎてから再び神輿を担ぐようになりまして。もう20年近くになります。北祭会という御神輿の会で、すすきの祭や弥彦神社の例祭時に担がせてもらっています。ただ、北祭会の拠点が豊水地区なもので、練り歩いているところを町内の方に見つかって、「何でいるの？」って(笑)。

お問い合わせ先 ★ 幌西まちづくりセンター / TEL 011-561-3256

幌西夏まつりの時には柳町さんも焼鳥を焼いており、「町内の方に結構好評なんですよ」とのこと。来年を楽しみます。

※ここに掲載できなかった取材時のお話は以下のアドレスで聞くことができます。
http://www.sora43.jp/sound/machi/vol_76.mp3

最近楽しみにしていることは、子どもたちの登下校時の見守り活動です。毎朝、局の前を掃除しながら子どもたちに挨拶をしています。町内探検をする学習で、子どもたちが郵便局に来た時、「ここにいたんだ、おじさん」って言われて。ようやく郵便局長だと認識してもらえました(笑)。

—最後にまちへの想いをお願いします。

大学と仕事の関係で7年ほど東京に行っていた時期以外は、ずっとここに住んでいるので、幌西地区には誇りを感じます。今年で85周年を迎える幌西小学校にも、父と私と子どもの3代にわたってお世話になっていますし、やっぱり「幌西」という言葉は好きですね。今は地域の方が足を運ぶ郵便局という場所で、町内をもっと紹介していけたらいいなと思っています。地域の郵便局として、何かできることはないかなと、模索している状態です。



「ババ抜きじゃなくて、お姉さん抜きをしましょう」って(笑)

毎週金曜日に、幌西まちセンで活動している老人クラブ 幌西長栄会。小学生との交流では、子どもたちの「お年寄り」のイメージを一新。そのパワーの源をご紹介します。

幌西長栄会 会長 東出 松夫

—東出さんが幌西地区に住み始めたのは、何年頃でしょうか？

昭和57年に仕事の関係でこちらに転勤してきました。当時はただ住んでいるというだけで、この地域のことは何もわからなかった。老人クラブに入るのも、「老人」という言葉にこだわってしまって(笑)、なかなか入るふんぎりがつかないかったですね。長栄会に入ってから、地域のこともどんどんわかってきて、人とのつながりも広がりました。道で会えば、挨拶できる人が増えてきて。親しくなると、以前からずっと住んでいるような感じで付き合ってくれる面はありますよね。地域が好きになるというのは、そこに暮らしている人とのつながりが、大事な要因だと思います。

—10月には幌西小学校の6年生との交流学習が、初めて開催されました。

各クラス1時間だけの参加だったので、子どもさん方がどう思うか心配だったのですが。後日頂いた手紙を見て、安心しました。「優しくしてくれて、うれしかった」という声が多くて。私たちにとっては孫みたいなものですから、そういう想いで接していた部分も伝わったのでしょうね。面白かったのは、子どもたちがババ抜きをしようと言ったら、うちの会員が「ババ抜きじゃなくて、お姉さん抜きをしましょう」って(笑)。「皆さん、想像よりとても若くて元気で驚きました」という声も多かったです。今回の交流を通して、子どもたちにとっても高齢者のイメージが変わったと思いますし、私たちにとてもパワーをもらうことができ良かった。小学校の子どもたちとの交流は、これからも続けていきたいです。「また来たい」と書いてく

れたお子さんなんかは、冬休みなどに来てもらってもいいかなと思っています。

—最後にまちへの想いをお願いします。

3、4年前からは、子育て支援センターや保育園に行って、子どもたちやお母さん方と交流しています。老人クラブも、ただ自分たちが楽しむだけでは、いつか飽きると思うんです。奉仕の喜びってありますから、これからも幌西地区のお役に立てるような活動をしたいと思っています。



お問い合わせ先 ★ 幌西まちづくりセンター / TEL 011-561-3256

「折り紙を覚えてもらおうと思ったら、50年してないので忘れてなあ、という答えに驚いた」という子どもの手紙が個人的に面白かったです。

※ここに掲載できなかった取材時のお話は以下のアドレスで聞くことができます。
http://www.sora43.jp/sound/machi/vol_77.mp3